

## 【一中】朝の挨拶に変化が…

本文:

本日から1年生が通常登校を始め、登校道路がにぎやかになりました。

初めて自家用車での送迎をされるところもあるだろうと予測し、体育科の職員が武道場西側のロータリーに石灰でラインを引いていたのでスムーズに送迎車が流れていました。今後も安全な送迎をお願いします。

4月になってからの変化としては、朝の挨拶を「おはようございます」と声に出して言える生徒が若干増えました。特に早く登校する生徒とは気持ちの良い挨拶を交わせることが多いです。

また、今朝は挨拶する生徒が、ちょっと立ち止まって挨拶し、頭を下げしてくれる生徒も多くいて、さわやかな気分になりました。「寸止先言後礼」（ちょっと立ち止まって、先に挨拶を言い、その後に頭を下げた礼をする）ということを実践していた学校の生徒が実践していました。この「寸止先言後礼」をもっと多くの一中生にしてほしいなと感じた朝の一コマでした。

学校によっては、校門を出入りするときに生徒が一礼して出入りしている学校もあります。（唐津市内の中学校です。他県の中学校でも生徒がしている学校がありました。）「寸止先言後礼」を実践している学校もあります。外からのお客様に対して笑顔と気持ちの良い挨拶をしようとされている唐津市内の学校もあります。今朝の本校生徒が「寸止先言後礼」を実践している姿にふれて、本校でも気持ちの良い挨拶を交わす取り組みが出来るのではないかと感じました。

『心は見えないけれど、心遣いに見える』ということを昨年度お伝えしましたが、気持ちの良い挨拶を交わして自分の心遣いを表現することの大切さを生徒に伝えていきたいと思えます。

「くまのこうちょうせんせい」という絵本（「命の授業」を続けた実在の校長先生をモデルにした絵本）があり、私はその内容が大好きです。

-----

くまの校長先生は、毎朝元気に「おはよう！」と子どもたちを迎えます。いつも声が小さいひつじくんに、くまの校長先生は勇気を出して大きな声を出すようにアドバイスをします。ひつじくんは大きな声であいさつできるように一人で練習しますが、「大きな声」はひつじくんを悲しくさせるものばかりなのです。夜ベッドで寝ているときに聞こえてくる、お父さんとお母さんのけんかの声……。お母さんがひつじくんを叱るときの声……。ある日、くまの校長先生は、病気で入院することになり……。

-----

声に出して挨拶をできない生徒がいるかもしれませんが、自分の気持ちを挨拶に込めて表現することの大切さを生徒に伝えたいと思えます。